

# 顧問挨拶

柏中央高等学校 南條駿介

柏中央高校剣道部顧問の南條です。本校には令和3年4月に着任しました。本校は、一昨年まで剣道の専門の指導者が不在のまま2年にわたり活動してきました。全国大会出場や関東大会出場などの活動実績はまだありませんが、1年間新体制で頑張ってきた上級生に加え、今年度新たに入学した1年生とともに、新しい柏中央高校剣道部を作っているところです。とくに1年生は、私が着任後初の入学生なのですが、「柏中央で剣道をやりたい」という剣士が集まってくれました。

本校剣道部は、近隣高校との練習試合もおこないますが、県立高校でありながら全国大会で入賞するような高校との練習試合や、全国大会で活躍する社会人選手、大学生選手が来校しての指導稽古などを行っている少し珍しい高校です。私自身が現役時代に全国大会や世界大会で活躍された選手と一緒に稽古させて頂いた経験を少しでも指導に活かしていきたいと考えています。

活動目標にも書きましたが、私が剣道部員に大切にして欲しいことは剣道の理念である「人間形成」です。勝敗も大切ですが、剣道の目的が勝敗になり、勝利至上主義になってしまっはいけないと考えています。何故なら、身につけた「強さ」の使い道こそが大切だと考えるからです。「強さ」を「正しく」使える人間に成長して欲しいと思っています。

また、「剣道だけ頑張ればいい」というわけではありません。学業との両立も大切です。私自身は警察で現役選手を続けることができず、今の職業への転職という経験をしています。希望通りに転職することができたのは、まずは警視庁の皆様が私個人の我儘を聞いて下さったからです。その他では剣道で身につけた規則正しい生活習慣・根性や思考力などが役立ちましたが、学生時代に身につけた基礎学力も欠かせない要素だったと感じています。やりたい事がいつどこで何をキッカケに変わるかは誰にもわかりません。剣道に真剣に取り組むのは勿論ですが、勉強も大切にしてもらいたいです。なにより、剣道馬鹿では社会に貢献できません。強くなるため・勝つために剣道で身につけた「相手を思いやる心」「努力する力」「洞察力・決断力」などを剣道以外の場面で発揮できこそ、剣道を学ぶ本来の意味であると考えています。学業も日常生活の基本的なことも、剣道とは切っても切れない関係にあります。本校剣道部では、「竹刀を握っても、握らなくても評価される人間」を目標に活動しています。私自身まだまだ未熟ではありますが、「師弟同行」日々、生徒と一緒に稽古に取り組み「人間形成」に精進しています。

コロナウイルスの影響もあり、大会が開催されないこともあるかもしれません。中学生の皆さんも大変な思いをすることも少なくなかったと思います。先の読めないこれからの時代、竹刀を操作するのが人より上手なだけでは生き抜いていけないと思います。本校剣道部で全国大会や関東大会出場など「大会の上位進出」はもちろんです、大会結果だけではない充実した高校生活を送りませんか？剣道が好きで高校でも続けていきたいと考えている中学生の皆さん、是非柏中央高校剣道部と一緒に汗を流しましょう！！